

令和4年度 聖心幼稚園 自己評価シート集計（教職員）

令和4年8月

現況：評価区分については、A～Dで自己評価をする。

A:十分達成されている

B:ほぼ達成されている

C:達成されているとは言えないが、努めている。

D:達成されていない

評価分類	自己評価項目	現況				考察
		A	B	C	D	
① 教育課程・指導	1 園の教育理念や方針を理解し、目指す幼児の姿を具体的にイメージできている。	0	3	8	1	本園の教育目標、目指す子供像に向かって全職員が努力していることが感じられる。しかし、教育の全体像やゴールイメージができていくことや、長期の指導計画の理解や活用ができていく現状もある。指導計画を作成する担任とそうでない職員の差が出ていた。
	2 幼稚園教育要領を理解し、具体的な事例を想起できる。	0	2	9	1	
	3 園の全体的な計画を理解し、それをもとに保育の計画を立てている。	1	5	4	2	
	4 長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行い、短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、変更できる柔軟性のあるものになっている。	1	5	3	3	
	5 幼児の生活は豊かになるような行事を、実態に合わせて精選している。	1	4	5	2	
	6 保育者の願いや意図をもち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	2	9	0	1	
全② への健康と配慮	1 けがや事故には特に気を付け、機会に応じた適切な配慮をしている。	4	6	2	0	安全に過ごせるような配慮ができていている。健康な心と体を育てるための様々な活動の実践はあるが、コロナの関係で例年の食育活動が実施できない現状もある。
	2 健康な心と体を育てるための食育などの活動に取り組んでいる。	3	4	3	2	
	3 緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、連携して行動ができるよう訓練をし、共通理解が図られている。	4	4	3	1	
③ 幼児の 見取りと 理	1 一人一人の幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察しよう	3	6	2	0	子どもと一緒に遊んだりしてしっかりとかがわり、一人一人の気持ちに寄り添う姿勢を意識していることが分かる。
	2 幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる。	4	6	2	0	
	3 「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心掛けている。	2	4	6	0	
	4 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている。	1	4	7	0	
	5 幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている。	0	7	4	1	
④ 教師としての 資質・ 能力	1 保護者に対し、幼児や保育のことをわかりやすく伝え信頼関係を作ることに努めている。	0	4	8	0	チーム聖心の一員としての意識が高いことは嬉しい。子どもたちをチームで育てるという共通の目標を全員が持っている。資質能力に関する項目については、経験年数や勤務形態によって評価にばらつきがあった。
	2 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにする。	2	5	5	0	
	3 園の教材等は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする。	2	8	1	1	
	4 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	11	1	0	0	
	5 クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。	1	6	5	0	
	6 教職員全員でひとつのチームであることを意識している。	3	9	0	0	

良識・適正	7	他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べる事ができる。	2	7	3	0	
	8	当番や役割による仕事は確実にやっている。	1	5	5	1	
	9	自然に対する感性を持ち、命の尊さを感じている。	1	5	5	1	
⑤ 保護者への対応	1	保育参観や懇談会を開き、子ども、保育、家庭のあり方などについて共通理解を売るように努めている。	2	3	4	3	保護者対応を多くする担任とそうでない職員とで評価が分かれていたが、全員の努力が感じられる。保護者の話を聞いたり、きちんと話したりすることに不安感を持つ職員もいる。直接対応しなくても、コドモンの連絡帳やドキュメンテーション等で発信できるので、それぞれの役割の中でできることを実践してみても良いのではないだろうか。
	2	園だよりやクラスだより等で、園やクラスの教育について適切に情報を提供している。	2	4	4	2	
	3	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く。	0	5	7	0	
	4	園のすべての保護者に対し、挨拶や会話を心掛けている。	4	6	2	0	
	5	クレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長、副園長等へ連絡・報告・相談している。	3	5	4	0	
⑥ 地域との関わりや社会の自然	1	地域の自然や機関を指導計画の中に位置づけて活用している。	0	3	5	4	コロナの影響で、園外に出かける活動や交流活動が思うようにできない現状がある。ICTを使うなど工夫が必要ではないか。
	2	小学校生活に期待と憧れを持たせる機会を設け、小学校生活や学習につながる指導を行っている。	0	3	5	4	
	3	子育て支援活動は地域や保護者の実情や要望に応えられる工夫をして行っている。	0	3	6	3	
⑦ 特別支援教育	1	特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画などを作成し、必要に応じて専門機関との連携をしている。	0	5	4	3	個別の配慮が必要な子供が多いことから、対応に戸惑ったり支援内容に悩んでいる職員が多いため、全体的に評価が低い。特別支援教育園内委員会での話し合いを増やしたり、園内研修の実施も考えたい。
	2	特別に支援が必要な幼児を取り巻く大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め、お互いの尊重できる子どもの人権教育に配慮している。	0	5	7	0	
	3	特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者を行い、小学校に適切な助言と申し送りを行っている。	0	3	3	6	
⑧ 研修・研究	1	研修会には自己課題をもって進んで参加している。	1	4	4	3	研修意欲が高く、向上心があることが嬉しい。フルタイムとパートタイムでは研修参加や放課後の話し合いへの参加に差がある為、評価が分かれた。限られた時間の中で研鑽を深めたり、話し合いの時間を作っていくことが大きな課題である。
	2	自分の保育について計画と反省を行っている。	0	5	5	2	
	3	他園の見学をしたり公開保育を見てみたいと思う。	4	6	1	1	
	4	園内や担任団で幼児理解を深めるための事例検討会などを行っている。	2	5	4	2	
	5	園の教育研究テーマに基づき、課題解決に向けた保育実践を行い、教職員同士で意見交換などをしながら取り組んでいる。	0	5	6	1	

令和4年度 聖心幼稚園 自己評価シート集計 (管理職)

評価日 4年 8月

- 現況 A;十分達成されている
 B;ほぼ達成されている
 C;達成されているとは言えないが、努めている
 D;達成されていない

評価分類		内 容	チェック	評価
I 教育内容	1 保育の計画	○建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化する	○	A
		○教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成する	○	
		○社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し必要に応じて教育課程の見直しを行う	○	
		○幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行う	○	
	2 教職員体制の充実	○教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行う	○	B
		○指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくる	○	
		○教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保する	△	
	3 指導の在り方	○環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成する	○	B
		○幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成する	○	
		○幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安全で心地よく過ごすことができる環境を整える	○	
		○幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行う	○	
		○教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行う	○	
		○遊びを通しての総合的な指導を行う	○	
○障がいのある幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をする		○		

		○子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図る○	△	
	4	研修や研究	○教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行う	A
			○教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保する	
			○個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとる	
Ⅱ 地域の幼児教育センターとしての役割	1	子育ての支援	○子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施する	A
			○さまざまな教育に関する相談を受け入れる	
			○子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整える	
	2	預かり保育	○教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行う	B
			○預かり保育を担当する教師の体制を整える	
Ⅲ 安全管理	1	外部侵入者・来訪者などに対する安全対策	○幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整える	C
	2	施設・設備・園児に対する安全対策	○地震などの自然災害に対する防災対策を整える	B
			○幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努める	
			○消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施する	
			○防火管理者を定めて防火管理を行う	
			○設備や遊具の点検を定期的に行う	
	3	衛生管理	○幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努める	A
			○学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施する	
			○学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施する	
			○学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応する	
○学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置く				

IV 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	○幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行う	○	A
			○幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努める	○	
	2	教職員の雇用条件	○労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示する	○	A
			○私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努める	○	
3	就業規則に基づく労務管理	○労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出る	○	A	
4	教職員の健康管理	○学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施する	○	A	
V 財務管理	1	予算作成及び予算管理	○学校法人会計基準に基づき、予算書を作成する	○	A
			○月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得る	○	
	2	決算	○学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成する	○	A
			○決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出る	○	
3	納付金算定	○園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにする	○	A	
4	物品購入	○教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理する	△	B	
VI 評価と情報の公開	1	評価	○重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行う	○	B
			○自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめる	○	
			○学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行う	○	
	2	情報の公開	○幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供する	○	A
			○公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにする	○	
			○自己評価の結果を公表する	○	
			○学校関係者評価の結果を公表する	○	
		○幼稚園幼児指導要録の抄本・写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図る	○		

